

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2017年 秋号 vol.19



▲整形外科の白澤副院長（リウマチ・関節センター長）のもと、診療科の垣根を越え、総合的・専門的に関節疾患を診療します。

特集 「リウマチ・関節センター」を開設!

がん診療コーナー 肺がん

お知らせ「あいさつ運動」を実施しました! ほかもっと知りたい 臨床工学部 臨床工学技士

地域の絆 ももさき皮ふ科

吉田メディカルクリニック

2017.11.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

センター」を開設!

関節疾患の治療を

リウマチ膠原病内科医長 おおた しゅんいちろう 大田 俊一郎

センター開設にあたって

「関節が痛い」といわれ当院を診される患者さんは非常に多いですが、関節が痛い理由は大大きく二つに分かれることをご存知でしょうか。



ひとつは関節内に炎症が起こっておこる関節炎で、見た目としては関節が赤く腫れあがり、安静にしても痛みがあるなどの症状があります。この代表的な病気が関節リウマチですが、それ以外にも関節内に菌が入って炎症を起こす感染性関節炎や尿酸やピロリン酸カルシウムといった結晶成分が関節内に蓄積して炎症を起こす痛風や偽痛風などもあります。

もうひとつが、骨と骨の間でクッションの役割をしている軟骨が加齢とともに徐々に磨り減っていき骨と骨が直接ぶつかることで機械的に痛みが起こる変形性関節症です。ただ変形の理由は加齢だけではなく、スポーツや事故などの怪我に起因することもありますし、関節炎（特に関節リウマチなど）の結果であることもあります。

しかし、実際にはこれらが混在し

ている患者さんは多いことから、時に鑑別が非常に難しいことがあり、高い専門性が求められます。さらに関節リウマチの治療においては、次々と新たな免疫学的治療ができるようになっていますが、当然副作用のリスクがあることから総合病院での専門的な治療の必要性が高くなっています。

当院は、関節疾患を専門とする内科（リウマチ膠原病内科）、整形外科医が揃った市内唯一の総合病院であり、リウマチ・関節センターを設立することで、関節疾患を内科的及び整形外科的な両者の視点から総合的・専門的に診断・治療ができる体制を整えることとしました。

また、下関地域における関節専門センターとして、地域の医療連携においても中心的な役割を果たしていきたいと考えています。

関節炎疾患の代表である
関節リウマチとその治療について

関節リウマチとは?

関節リウマチとは、関節の滑膜かつまくという部位を中心に炎症（関節炎もし



くは滑膜炎）が起こる慢性の炎症性疾患です。

関節炎が進行しますと、関節の構造物である軟骨・骨が破壊、腱が変性・断裂してしまい、関節機能低下、更には日常生活動作（activity of daily life: ADL）の障害、ひいては生活の質（quality of life: QOL）の低下が起こります。これが関節リウマチの自然経過です。

関節リウマチの発症頻度は人口の0.5〜1.0%といわれ、決して稀な病気ではありません。発症には遺伝因子、環境因子が複雑に関与していると考えられていますが、未だ不明な点が多いのが現状です。

遺伝的要因を示唆するひとつの証明として、疾患の多発家系が存在することや、一卵性双生児における発症の一致率の高さなどが挙げられます。

環境因子としては、喫煙の関与は明らかで、細菌やウイルス感染などの感染症の関与も指摘されています。

関節リウマチの病因には、特定の遺伝的背景をもつ方に環境要因が加わって発症する、遺伝・環境因子の相互作用が重要な役割を果たしていると考えられます。

リウマチ・関節

— 総合的・専門的に

早期診断・治療の重要性

関節リウマチとは、先ほど述べたように関節炎が続いて、関節破壊・変形が起こる病気ですが、以前はこれらの破壊・変形は10年以上の長い経過でゆっくりと進行してくると考えられてきました。

しかし、最近の画像診断の進歩により、関節破壊は発症1年以内という超早期に最も進行が顕著であることが分かってきました。これまでは発症平均7.7年の患者さんの症状、経過、検査結果をもとに1987年に作成されたアメリカリウマチ学会（ACR）関節リウマチ分類基準（表1）が用いられてきましたが、この分類基準では診断確定までに発症後平均1〜3.5年と時間がかかってしまい、診断の段階で関節の破壊が始まってしまっていました。また、

近年の関節リウマチ治療薬の進歩に伴い、早期に診断し、早期から抗リウマチ薬による治療を開始したほうがその後の関節予後が良いことが、多くの研究で示されました。これらのことから2010年に欧州リウマチ学会（EULAR）、ACRの合同で早期関節リウマチ診断を可能とした新たな分類基準

（表1）
【判定】 下記7項目中、少なくとも4項目あれば関節リウマチと診断される。

1. 朝のこわばり、少なくとも1時間以上
2. 少なくとも、3関節領域以上の同時腫脹、または同時関節液貯留（関節領域とは、左右PIP、MCP、手関節、肘関節、膝関節、足関節およびMTPの14領域を指す）
3. 手関節、またはMCP関節、またはPIP関節領域の腫脹
4. 対称性関節炎（PIPs、MCPs、またはMTPsの関節炎は全くの対称でなくてよい）
5. リウマトイド結節
6. 血清リウマトイド因子高値
7. 手指、手関節にびらん、または骨脱灰を伴う典型的X線所見

※1〜4は6週間以上持続

（表2）
【判定】 6点以上あれば関節リウマチと診断される。

腫脹又は圧痛関節数（0〜5点）	
1個の中〜大関節	0
2〜10個の中〜大関節	1
1〜3個の小関節	2
4〜10個の小関節	3
11関節以上（少なくとも1つは小関節）	5
血清学的検査（0〜3点）	
RFも抗CCP抗体も陰性	0
RFか抗CCP抗体のいずれかが低値の陽性*1	2
RFか抗CCP抗体のいずれかが高値の陽性*2	3
滑膜炎の期間（0〜1点）	
6週間未満	0
6週間以上	1
急性期反応（0〜1点）	
CRPもESRも正常値	0
CRPかESRが異常値	1

*1：基準値上限より大きく上限の3倍以内
*2：基準値の3倍より大きい値

（表2）が作成され、現在、この基準を用いて早期診断・早期治療が行われるようになりました。

関節リウマチの治療

従来の関節リウマチ治療は、臨床症状の軽減とADL（日常生活動作）の改善を目標とし、症状の緩和のために痛み止めからスタートし、効果が無ければ金製剤などの抗リウマチ薬を使用する（ピラミッド療法）という治療法が行われてきました。また、効果不十分な場合には、特に我が国ではステロイドが頻用されてきました。しかし、このような緩徐かつマイルドな治療方法では関節破壊を阻止することはできず、さらに感染症や心血管合併症などの併発によって、生命予後も一般の方と比較して約10年短いということが明らか

となりました。

このことから現在の治療のコンセプトは、早期より寛解（永続的であるか一時的であるかは問わず、病気による症状が好転、またはほぼ消失し、臨床的にコントロールされている状態のこと）を目指してメトトレキサートを第一選択薬として使用し、それでも効果不十分な場合にはその他の抗リウマチ薬、もしくは生物学的製剤を併用する積極的治療（逆ピラミッド療法）となっています。このことにより、関節リウマチの寛解導入率は飛躍的に改善し、関節破壊の阻止が可能となりました。しかしながら、治療による改善を目指すには、早期の治療開始が最も大事なことです。関節リウマチではないかと心配されている方は、当院までお問合せください。

肺がんとは？

肺癌とは、肺(肺胞・気管・気管支)から発生した悪性腫瘍です。

肺癌の発見は、検診(健診を含む)や他の病気治療で偶然発見されることが多く、自覚症状で発見される患者は比較的少ないです。そのため、咳や痰などの自覚症状がなくても検診を受診されることをお勧めします。

肺癌のリスク因子としては、第一は喫煙です。喫煙には能動喫煙と受動喫煙があります。能動喫煙とは自らの意志でたばこを吸うことで、受動喫煙とは非喫煙者が自らの意志とは無関係に、たばこの煙を吸っている状態です。受動喫煙の原因は副流煙(たばこの先から出る煙)、呼出煙(喫煙者が吐き出した煙)の吸入です。タバコを吸ったあと数時間は有害物質が息に含まれていますので、知らない間に受動喫煙をしていることとなります。2016年の国立がん研究センターの発表では受動喫煙がある人は肺癌の発症リスクが1.3倍に高まると発表された事

は、皆様ご存知の事と思います。

肺癌の治療には主に①手術治療、②抗がん剤治療、③放射線治療があります。一般的に臨床病期IIIAまでが手術治療を行い、IIIB、IV期は抗がん剤や放射線で治療を行いますが、身体状態等で治療内容が変わる事があります。また、IIIB、IV期であっても抗がん剤や放射線で治療を併用して手術を行う事もあります(集学的治療と言います)。

肺癌治療で進歩が目覚ましいのが抗がん剤治療です。特に分子標的薬と免疫治療は多くの方が気になっている内容と思えます。まず、分子標的薬についてご説明します。ガン細胞には沢山の遺伝子異常があります。その中で特にガン細胞が増えたり転移に深く関与する遺伝子の特異的に抑える抗がん剤が分子標的薬です。この遺伝子を抑える事でガン細胞は生きていく事が出来なくなります。次に免疫治療です。免疫治療という言葉は多くの方が、一度は耳にした事があると思えます。しかし、最新の治療で用いられている免疫治療薬はこれらの治療法とは

全く異なる治療です。つまり、同姓同名の別人と説明すれば分かりやすいと思えます。

免疫とは、体に侵入した細菌やウイルスなど自分にとって有害な異物を攻撃して取り除くシステムの事です。ガン細胞も自分にとって有害であるため、この免疫で取り除かれるべきであります。ところが、ガン細胞には免疫(リンパ球)からの攻撃をブロックする機能を持っている事が分かりました。この防御機能を抑える事でリンパ球がガンを攻撃出来る状態に回復する治療が免疫治療なのです。この免疫治療がこれまでのガン治療と異なる点は、抗がん剤が直接ガン細胞を攻撃していない点です。

このようにガン治療の進歩は目覚ましく、1年毎に標準治療が異なる時代になって来ました。これまで治療が出来なかったガンが治療できる事もあります。肺に病気を指摘された場合は、あきらめずに専門医の診察を受ける事をお勧めします。

＜呼吸器外科部長＞井上 政昭 いのうえ まさあき

【連載 エッセイ】

リハビリテーション部

一人ひとりの思いを大切に

リハビリテーション部は、山下部長の下、理学療法士16名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、助手2名の総勢26名です。若いスタッフから経験豊かなスタッフまで、イケメンからイケジョまでと、幅広いメンバーを揃えております。

「リハビリテーション」と聞くと、きつい・苦しい・痛いなどの

マイナスイメージが強いですが、当院においては、少しでも、明るく、楽しく、前向きなプラスイメージをもっていただけるよう、笑顔で元氣よく接し、不安や緊張が和らぐ対話を心がけ、笑顔の絶えない、安心して楽しいリハビリテーション部を目指しています。

患者さまは、同じようなケガや病気であっても、一人ひとりの症状・状態は違い、生活や住環境、家庭での役割、仕事、趣味なども異なります。我々は、患者さま一



技師長 安部 裕美子 あべ ゆみこ

笑顔の絶えない、明るいリハビリテーション部を目指しています。

人ひとりの生活スタイルや環境、そして何より思いに寄り添い、患者さまが持つておられる力を最大限に活かせる質の高いリハビリテーションを提供できるよう努力しております。それには、部内はもちろん他部署とのチームワークは必要不可欠です。お互いにコミュニケーションを密に取り、連携の強化を図っています。

また、介護予防事業への協力や出前講座なども行っており、地域住民の皆さまのお力にもなれればと考えています。

今後も、患者さま、ご家族、地域の皆さま一人ひとりの思いを大切にし、住み慣れた町で、自分らしく、最適な日々が過ごせますよう、努めて参りたいと思えます。

市民病院からの お知らせ

hospital news

「あいさつ運動」を実施しました！



当院では、今年度より『接遇週間』を設け、その主な取り組みとして「あいさつ運動」などを実施しました。

接遇週間(平成29年9月11日～15日)の午前8時から9時の間、正面玄関及び救急夜間出入口前にて医師をはじめ、看護師、コメディカルスタッフなど、全職種の職員で取り組みました。

接遇週間だけでなく、今後も継続して職員の接遇向上を図り、市民の皆さまに信頼される病院となるよう一層の努力をしております。



「市民病院フェスタ 2017」を開催しました！

9月23日(土)、市民の皆さまに“学んで体験していただく”参加型イベント『市民病院フェスタ2017』を開催しました。

このイベントは、毎回ご好評をいただいている「市民の保健室」と「市民公開講座」を同時開催したもので、今年で3回目となります。

午前には開催した「市民の保健室」では、血圧・体脂肪・骨密度・血管年齢・自己血糖などの各種測定や、医療機器体験、看護師による健康相談、薬剤師によるお薬相談、医療ソーシャルワーカーによる介護・福祉相談、リハビリスタッフによる健康体操、niko Cafe(にこカフェ)、バザー、ヨーヨーつりなど様々なイベントを実施し、およそ240名もの方のご参加をいただきました。

午後には、“認知症と共に生きる”と題し、なかむらたかはる当院脳神経外科部長の中村隆治とはやくにあつ認知症看護認定看護師の林邦厚による「市民公開講座」を行いました。

当日は、たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。



▲ 市民公開講座



▲ 各種測定



▲ 健康体操



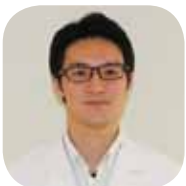
▲ ヨーヨーつり



▲ 院内コンサート

【心臓血管外科】

もとまつ ゆうま
医長 元松 祐馬



平成29年10月1日より着任しました元松祐馬と申します。

平成20年に九州大学を卒業後、九州大学病院、九州厚生年金病院(現JCHO九州病院)などで成人心臓外科、ステントグラフトを初めとした大動脈外科治療の研鑽を積んで参りました。まだまだ若輩者ではありますが、患者さん一人一人の気持ちを汲み取って地域の皆様のお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「新任医師」のご紹介

【呼吸器外科】

おやま りんたろう
医師 小山 倫太郎



10月より下関市立市民病院に赴任致しました、呼吸器外科の小山倫太郎です。

地域の皆様の健康、特に呼吸器疾患に対して貢献できるよう頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



よろしく
お願いします!!

当院で働く職員を紹介します。

もっと
知り
たい。

臨床工学技士



臨床工学技士
なかむら すぐる 傑
中村 傑

「臨床工学技士」の主な仕事内容を
教えてください。

医師や看護師、コメディカルスタッフとチームを組み、血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器などの生命維持装置の操作を担当します。

また、様々な医療機器がいつでも安心して使用できるように保守・点検を行っています。松原臨床工学部技師長をはじめ、当院には12名（うち1名は非常勤）の臨床工学技士がいます。

就職して2年目の私は、主に血管造影室で勤務しており、心臓や足の



▲血管造影室や透析センター、ペースメーカー外来など、いろいろな場所で活躍しています！

カテーテル検査・治療のサポートをしています。他には、ペースメーカー植込み術後やペースメーカー外来等で、ペースメーカーが正常に作動しているかを確認する業務や医療機器管理業務に携わっています。

「臨床工学技士」を目指した
きっかけは何ですか？

私が高校生のとき、看護師の母から「臨床工学技士」という職業があることを教えてもらいました。高校が機械科だったということもあり、医療機器の操作等に興味を持ち、目指すようになりました。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

カテーテル検査・治療時の心電図や血圧などの生体情報の変化にいち早く気がつくよう心がけています。

ペースメーカー点検業務では、点検する際、装置の異常や不整脈の発見を絶対に見逃さないようにし、異常を見つけた際には、医師の指示のもと適切な対応が行えるようにしています。

「血管造影室」は、どんな職場
ですか？

血管造影室のスタッフは、患者さまにとっても優しく、笑顔で接する方ばかりで、日々学ぶことが多いです。そして、とても仲が良く、明るい職場なので、毎日の仕事が楽しいです。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

最近、ロードバイクを購入しました。友人と「深坂自然の森」に行ったり、市内散策をしてサイクリングを楽しんでいます。

自然を肌で感じることができ、心体もリフレッシュされます。



▲装置の異常などにいち早く気付くよう、厳しい目で点検しています。

認定看護師
だより
Vol.17



がん化学療法看護
認定看護師

ひらた まさこ
平田 雅子

生涯のうち2人に1人は「がん」と診断され、3人に1人は「がん」で亡くなる時代になりました。

がん治療も様々ありますが、当院では、「標準治療」最善の治療を提供しています。抗がん剤の治療だけでなく、手術療法や放射線療法、緩和ケアも含め、患者さまや、ご家族の方が納得のいく最善の方法を医師、薬剤師、管理栄養士などと協力し、患者さま、ご家族の方と一緒に治療方針を考えています。

また、「看護」という視点で在宅療養や様々な場面でのケアを提案しています。痛みや病状の不安、体調の管理など困った時は、いつでも相談できる環境を提供していますので、お気軽に声をおかけください。



地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 病診連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

ももさき皮膚科

院長 ももさき なおや 桃崎 直也 先生



下関市立市民病院の先生方、病診連携室並びに関係者の方々には平素より大変お世話になっております。

当院は2014年9月9日に田中町にありました石川ファミリークリニックのあとに開院させていただき、今年で3年目を迎えました。

私は、下関で開業する前まで、福岡の大牟田市立病院に勤務しておりました。そちらでフットケア外来なども担当していた関係もあり、当院では、爪が切れない、爪が巻いている、ウオノメが痛いなど、足のトラブルに対して、積極的に治療を進めております。

また、元々の専門が皮膚外科（皮膚科の手術専門）であったこともあり、外来での局所麻酔手術（粉瘤・ホクロ・脂肪腫など）も行っております。顔に出来るイボに対しては、レーザーによる治療も行っております。

今後とも地域医療のお役に立てるよう、努力して参ります。市民病院の先生方にもお世話になると思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

〒750-0008 下関市田中町11-13 TEL：083-228-5015 <皮膚科> 月～土：9：00～12：30、14：00～18：00（木・土：午前のみ、午前受付12：15迄、午後受付17：45迄）

吉田メディカルクリニック

院長 よしだ ひろし 吉田 寛 先生

下関市立市民病院の病診連携室の皆様、諸先生には常日頃大変お世話様になっております。私は、済生会下関総合病院に31年勤務いたし、上部消化管、下部消化管検査、乳がん検査など多くの症例に取り組んで参りました経験を活かし、唐戸の築110年を迎える赤レンガの旧宮崎商館（以前はロダン美容室として知られていました）にて、平成21年に遅まきながら開業いたしました。

市民病院とのご縁は30余年を越え、病院が丸山町の山の上にある頃から息子が小児科の永田先生の患者として、厳しくも熱い先生のご指導のもと、家庭では和食を中心とした薄味で油抜きを実践して参りました。結果的に私もそのような食生活の恩恵に浴して参りましたことは、今日の健康を維持する上で誠に幸いでありました。

市民病院で子供が生まれ、義母を見送り、家族の喜びも哀しみも貴院の先生方に見守られて参りましたことは誠に心強く、感謝の念に絶えません。また、義父が脊柱管狭窄の手術を80歳を超えてから整形外科の白澤先生の執刀にて受けましたが、市内を問わず九州や他県から多くの患者さんが見えていることを知り、下関に在住している者の恵みを実感いたしました。

私も微力ながら、これまでのご恩返しをさせて頂けるよう、心を尽くして診療に勤しんで参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

〒750-0008 下関市田中町4-10 TEL：083-242-7722 <内科、消化器内科、乳腺外科> 月～土：9：00～13：00、14：00～18：00（木・土：午前のみ）



外来診療のご案内

2017年11月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹	山口 敢	村田 征喜
内科・呼吸器内科		川端 宏樹(※)				花香 哲也(※)
内科・循環器内科		金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/與田 俊介
禁煙外来(午後・予約制)				金子 武生		
内科・腎臓内科			坂井 尚二 中村 亜輝子	荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午前:田中 洋澄/午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)			相良 理香子(※)(糖尿病内科のみ)			
内科				原田 由紀子		
渡航外来(予約制)						原田 由紀子
内科・胆膵外来		五十嵐 久人		五十嵐 久人		
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡		山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	具嶋 正樹
胃透視			具嶋 正樹	村田 征喜		山口 敢
心臓血管外科			上野 安孝/元松 祐馬		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前	牧野 一郎 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	江口 大樹	石光 寿幸 大谷 和広
	午後	院長外来 (院外紹介)	乳腺外来 石光 寿幸 奥村 幹夫		ストーマ外来(第2第4)	乳腺外来 ストーマ外来(新患)第2第4 石光 寿幸
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)		吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭/小山 倫太郎	井上 政昭(予約のみ)
小児外科		福原 雅弘(要相談)		福原 雅弘/九大派遣医師		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/岩城 克馬	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 岩城 克馬(午後)
整形外科	再診	白澤 建藏 鶴居 亮輔(新患/再来)	渡邊 哲也/古川 寛(新患/再来) 藤井 勇輝	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	野村 裕/杉 修造
	新患	橋川 和弘	野村 裕	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 藤井 勇輝	山下 彰久 杉 修造	渡邊 哲也 喜多 正孝(※)
泌尿科	一診(初診)	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠
眼科		石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣
放射線診断科			箕田 俊文			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前	河野 祥二/岡田 裕介	河原 典子(※)	岡田 裕介	河原 典子(※)	東 良紘(※)/岡田 裕介
	予約制	アレルギー	永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
	予約制	心身症			大賀 由紀(※)	
	午後	健診・予防接種	河原 典子(※)/河野 祥二		河原 典子(※)/岡田 裕介	
産婦人科	予約制	アレルギー		河野 祥二/岡田 裕介		永田 良隆 河野 祥二
	慢性疾患				大賀 由紀(※)	
	心身症			綿野 友美(※)		
産婦人科	午前	一診	前田 博敬	川崎 憲欣	前田 博敬	川崎 憲欣
	二診	川崎 憲欣(第2・第4のみ)		川崎 憲欣	前原 佳奈(※)	
	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来 ペインクリニック内科		藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科		内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 齊藤 雄一
歯科・歯科口腔外科		上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 高橋 理(※)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)
緩和ケア外来						牧野 一郎/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋/奥村 幹夫	尾中 貞夫	中原 千尋/江口 大樹	中原 千尋/尾中 貞夫	奥村 幹夫

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆渡航外来(要予約)



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOZEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

病診連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。